



すみだだより

令和6年6月28日 校長 朝日滋也

学びを重ねて

本日は、保護者の皆様には授業参観にお越しいただきまして、誠にありがとうございました。

4月8日の始業式から間もなく3か月が経ちますが、この間、運動会や体育祭、プールでの学習（初泳ぎ）、校外学習や職業見学・現場実習など、節目になる学校行事や学習を経て、子供たちはしっかりと学びを重ねています。

小学部1年生は、4月当初はまだ見るもの全てが珍しく、きょんとしていた表情ですが、学校生活の場所も流れも分かってきています。中学部3年生と高等部の生徒は、仮設校舎の生活にも慣れ、毎日、校長室の前の渡り廊下を行き来する姿が、頼もしくなってきたように感じます。

本校の教員も、それぞれの指導力を向上させるため、研究授業を1年に1回以上、若手は3回以上行い、教員同士が授業を見合って学んでいます。私も出張等がない限り、研究授業を参観していますが、毎回、子供たちの予想外の反応に「面白いなあ」と感動することがしばしばあります。

例えば、「品物の値段表を見て、おつりのないように硬貨で買い物をしてみよう」という学習で、生徒が順番に前に出てきて、自分の買いたい品物を選び、その金額に合わせて硬貨を並べていました。すると、ある生徒が「お金を先に並べる」と言い始め、後からその金額に合う品物を発表しました。この突発的な提案が他の生徒の興味を引き、硬貨を並べてから値段表をよく見るといった活動に展開し、大いに盛り上がりを見せました。小1の授業では、「目標に向かって走る」活動で、スピードをつけたくてわざわざ逆もどりして助走距離を長くする児童もいました。活動しながら「思考、判断、表現」をしている姿を見せてくれます。

7月には、宿泊行事も始まります。はじめに、中学部1年生と高等部1年生が、宿泊防災訓練で学校に一泊して災害時の対応を学びます。また中学部3年生は、新幹線を利用して那須方面まで修学旅行に行きます。ここでもたくさん学びがあることを期待しています。



思うようにいかないとき

皆さんは、うまくいかないこと・思うようにならないことがあったときに、どのようにされていますか。私事で恐縮ですが、最近、思うようにならないことがあり、心が折れそうになることがありました（学校のことでないもので御安心ください）。幸い、「みんなでもう一度話し合ってみましょう」と提案してくれた方がいて、話していくうちに解決策や対応策が少し見えてきました。反省点も分かり、次に生かせばいいと納得できて、心が折れずに何とか進むことができるようになりました。

本校の児童・生徒は「思うようにいかないとき」、なかなか周囲にそれを伝えることが難しいので、いろいろな表し方をします。中には、気持ちが荒れて、物や人に当たってしまう子もいます。どうしてそうなったのかを推測しながら、まずは落ち着くまで待ち、どうすればよかったのかを一緒に考えます。同じような場面にならないように配慮しながら、思うようにいかないときに、助けを求める、相談する、折り合いを付けるなどの行動をとれるようにしていくのも大事だと考えます。

「セルフ・アドボカシー」という言葉があります。「アドボカシー」とは、意見表明の支援や擁護、代弁をすることで、代弁する人を「アドボケイト」と呼ぶそうです。それに「セルフ」が付くと、障害や困難のある当事者の方が、自分の利益や意思、権利を自ら主張することを意味するそうです。子どもの権利条約などで示された「子どもの意見を表明する権利」を尊重するために、重要な考え方になってきていると聞きました。

「思うようにいかないとき」に、困っていることを表明したり相談したりすることが少しずつでもできるように、子供たちの気持ちを考え、代弁しながら、向き合っていきたいと思います。

運動会（小学部高学年）

今年度も小学部高学年と中学部の運動会は、ひがしんアリーナ（墨田区総合体育館）で開催しました。当日の朝は雨模様でしたが、予定通り開会式が始まりました。校外での運動会は初めてでドキドキの4年生も、2回目で落ち着いている5・6年生も、ゴールを目指して走り、ダンスをしたり友達と持つバーを次のペアにつないでリレーをしたり、練習で積み重ねた力を発揮して、最後まで頑張りました。保護者の皆様の温かい応援も子供たちの励みになりました。ありがとうございました。（小学部：高山 香）



小学部高学年種目
台風の目の様子

運動会（中学部）

6月1日（土）にひがしんアリーナ（墨田区総合体育館）で開催された運動会は、今年で2回目となりました。「徒競走」では、約100mのコースをゴールまでベストを尽くして走りきることができました。「棒とり箱とり合戦」では、多くの棒や箱を取れるように仲間と協力しながら取り組むことができました。赤と白の対決が接戦で、手に汗握る展開でした。たくさんの練習の成果です。また、保護者の皆様の御協力と温かい御声援のおかげで、子供たちはこれまでに一番のパフォーマンスを見せてくれました。ありがとうございました。（中学部：渡辺 嵐士）



中学部 学部種目
棒とり箱とり合戦の様子

校内実習（高等部1年）

今年度から年に2回取り組むことになりました。第1回目は6月10日（月）～14日（金）の期間で実施しました。職業の授業グループをもとに3つのグループに分かれ、それぞれの課題に合った作業に取り組みました。今回は高等部に入学して初めての進路活動ということで作業室を作ることから始めました。教室を清掃し、作業するために机を並べ、部材を並べ、作業をする環境作りから始めました。「仕事をする」取り組みの第一歩、「はじめの一步」になりました。また11日（火）には、荒川区立荒川福祉作業所・荒川生活実習所・東京大学施設部施設企画課の校内校外清掃班・本郷業務支援班の仕事の様子を見学させていただきました。卒業生や実習中の生徒の様子から働くことのイメージをもつ事ができました。（高等部1年：石橋 恵美子）

職業見学（高等部2年）

校内実習期間中の6月13日（木）に職業見学が行われました。4グループに分かれて、株式会社シンフォニア東武、就労移行支援フォレスト、浅草ほうらい（生活介護）、浅草みらいど（就労継続支援B型・生活介護）の4か所を見学しました。生徒達はそれぞれの場所で、先輩方の働いている様子を見たり、進路先でどのような活動を行うのかを知ることができたりと、将来に向けてのイメージをもつ良い機会となりました。（高等部2年：金谷 浩行）



浅草ほうらい



株式会社
シンフォニア
東武